

## 「県都魅力度アップ推進ワーキンググループ」の設置について

### 1 概 要

徳島新時代にふさわしい「県都の魅力度向上」を推進し、ハード・ソフトの両面から未来に引き継げる「良いレガシー」を備えた徳島を実現するため、「徳島県と徳島市の連携の場」として、新たに実務者によるワーキンググループを設置。両者参加により、令和5年8月21日にキックオフミーティングを開催した。

### 2 検討テーマ

#### (1) ハード面面向上

- 徳島駅北口、北側開発
- 新ホール整備
- 中央卸売市場整備等整備
- アリーナ整備
- ホテル誘致、改修 ほか

#### (2) ソフト面面向上

- グルメコンテンツ、文化コンテンツの磨き上げ、発信力向上
- 徳島駅周辺を拠点とした市内街歩き
- 徳島市を拠点とした県内周遊導線の構築
- 「徳島イン、県外アウト」、「県外イン、徳島アウト」導線の構築

※詳細は別紙のとおり

### 3 グループメンバー

- 徳島県 村上政策監補 各部局 副部長・次長 計9名
- 徳島市 折野副市長 各部局 部長・副部長 計8名 合計17名

### 4 今後の方向性

「県都のグランドデザイン」を作るため、ハード・ソフトの検討テーマごとに、徳島県と徳島市の実務者が連携して課題やまちづくりのあり方を議論し、方向性をとりまとめる。

# 県都魅力度アップ推進ワーキンググループ

徳島県と徳島市の連携の場として、実務者によるワーキンググループを設け、徳島新時代にふさわしい県都の魅力度向上を推進し、ハード・ソフトの両面から未来に引き継げる良いレガシーを備えた開かれた徳島を創造する。

## ハード面 向上

- ・ 徳島駅北口・北側開発
- ・ 新ホール整備
- ・ 食品衛生の更なる向上  
(中央卸売市場整備等)
- ・ アリーナ整備
- ・ ホテル誘致、改修
- ・ 動物公園跡地活用
- ・ 誘客・回遊性を高める街づくり
- ・ 既存ストック(アミコ等)の集客力向上
- ・ シャッター通り、空き家・空き地対策

## 課題

- ・ コロナ禍による街のにぎわい喪失
- ・ 文化、スポーツ、MICEニーズに応えられる施設の不足
- ・ 施設の老朽化
- ・ 県と市の所管行政の狭間
- ・ 県外・海外客の印象を決める玄関口たる県都の魅力
- ・ 万博、LCC・国際路線を見据えた戦略の構築

## ソフト面 向上

- ・ グルメコンテンツ(食・酒)、文化コンテンツ(阿波踊り・アニメ等)の磨き上げ、発信力向上
- ・ 徳島駅周辺を拠点とした市内街歩き
- ・ 徳島市を拠点とした県内周遊導線の構築
- ・ 「徳島イン、県外アウト」、「県外イン、徳島アウト」導線の構築

注：政策創造部、未来創生文化部、商工労働観光部、農林水産部、県土整備部から参画(各部ヘッドは副部長・次長クラスを想定)。県庁内の全体とりまとめは政策監補。

※県と市の役割分担については、共通認識を図った上で、各般の施策を連携して進める。